

みなと区議会だより

Ⓢ No.157 2004年(平成16年) 8月21日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話 (3578) 2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

第2回定例会

7月14日~7月23日



お台場の夏

新区長の施政方針を問う

平成16年第2回定例会は、7月14日から7月23日までの10日間にわたって開会されました。まず、11人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は、区長選挙を通じての新区長の所感、財政運営、区の責任で公約実現へのプロセス、基本構想についての考え方、区政に係る新区長の包括的考え方、積極的な区政運営への取り組み、電線類地中化の推進、支所機能の充実、次世代育成計画への区民参画など区政全般にわたりました。(要旨2面・3面掲載)

そのほか、区長から提出された案件を審査した結果、条例改正など12件を、原案どおり可決・承認しました。

皆さんからの請願は、7件を採択し、1件を不採択としたほか、24件を継続審査しました。議員提出による案件は、意見書1件を可決し関係機関へ送付したほか、港区議会会議規則を改正しました。

追加提出された人事案件は、助役の選任、教育委員会委員の任命、監査委員の選任についてそれぞれ同意しました。

また、4常任委員会及び議会運営委員会委員の選任を行い、各委員会は、新しい構成となりました。

真の地方分権社会を確立するための改革実現を求める意見書

港区議会は政府に対し、真の地方分権社会を確立する改革の実現のため、以下の点について、その実施を強く求める。

記

一 国庫補助負担金を継続し、所得税等の基幹税による税源移譲を確実に実施し、地方税源の拡充を図ること。

また、特別区には地方交付税制度が適用されていない状況に十分配慮すること。

一 税源移譲にあたっては、特別区制度や都心区特有の多様かつ膨大な行政財政需要に十分に配慮し、過度な税源偏在対策は絶対に行わないこと。

港区議会議長 佐々木 義信

内閣総理・総務・財務大臣 あて

意見書を提出しました(要旨)

議長 佐々木 義信
副議長 山 越 明
監査委員 北村 利 明

自 民 党 議員 11人
公 明 党 議員 6人
共 産 党 議員 6人
民主クラブ 4人
オンス票 2人
港区民クラブ 1人
かがやき 1人
仲間へ勇気 1人
みなと社民 1人

常任委員会

井筒 宣弘 (自 民)
杉本 とよひろ (公 明)
菅野 弘一 (自 民)
熊田 ちづ子 (共 産)
きたしる 勝彦 (自 民)
北村 利明 (共 産)
藤本 潔 (公 明)
横山 幸雄 (自 民)

矢野 健一郎 (自 民)
阿部 浩子 (共 産)
樋口 紀和子 (オンス票)
森野 弘一郎 (自 民)
古川 伸三 (自 民)
岸田 幸雄 (自 民)

鈴木 洋一 (自 民)
七戸 淳 (自 民)
湯原 信一 (自 民)
林田 和雄 (自 民)
鈴木 義信 (自 民)
渡辺 義信 (自 民)

沖島 えみ子 (自 民)
清水 一郎 (自 民)
なかま えみ子 (自 民)
いのくま 正一 (自 民)
秋元 きよひさ (自 民)
杉原 としお (自 民)
達下 まさ子 (自 民)
山越 幸雄 (自 民)

議会運営委員会

きたしる 勝彦 (自 民)
藤本 潔 (公 明)
菅野 弘一 (自 民)
いのくま 正一 (自 民)
矢野 健一郎 (自 民)
風見 利雄 (自 民)
林田 和雄 (自 民)
鈴木 義信 (自 民)

特別委員会

岸田 東三 (自 民)
秋元 きよひさ (自 民)
なかま えみ子 (自 民)
杉本 とよひろ (自 民)
森野 弘一郎 (自 民)
いのくま 正一 (自 民)
鈴木 義信 (自 民)
風見 利雄 (自 民)
山越 幸雄 (自 民)
横山 幸雄 (自 民)

林田 和雄 (自 民)
杉原 としお (自 民)
七戸 淳 (自 民)
井筒 宣弘 (自 民)
鈴木 義信 (自 民)
沖島 えみ子 (自 民)
北村 利明 (自 民)
渡辺 義信 (自 民)
藤本 潔 (自 民)
佐々木 義信 (自 民)

菅野 弘一 (自 民)
阿部 浩子 (自 民)
樋口 紀和子 (自 民)
熊田 ちづ子 (自 民)
古川 伸三 (自 民)
矢野 健一郎 (自 民)
星野 信一 (自 民)
湯原 信一 (自 民)
達下 まさ子 (自 民)
清水 一郎 (自 民)
きたしる 勝彦 (自 民)

◎委員長 ○副委員長

◎この「区議会だより」は、新聞(朝日・読売・毎日・日本経済・産経・東京)折こみです。左記新聞を購読していない人のために、区の主な施設の窓口にもおいてあります。また、戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡下さい。【連絡先】区議会事務局調査係 3578-2920

代表・一般質問

(要旨)

7月

16・20日

今回の港区長選挙を通じて 新区長としての感想を

自民党議員団

質問 (1)今回の選挙は、港区長選挙では2番目に低い投票率。区長としてのどのように考えるか、感想を。(2)選挙運動期間中港区内を廻り、新たな発見、気づいた点等があったか。(3)区役所内で知っていた情報と実際に区民の方と接することによって知りえた港区の実情を、今後、区長としてのどのように生かしていくのか。

質問 (1)区民が区政に関心を持ち、区政が身近に感じられるような日々の努力が必要と痛感。(2)港区という地域が持っている魅力、豊かな可能性、課題などについて改めて認識を深めた。(3)職員が街に出かけ、もっと区民の中に入っていくことの重要性を痛感。私自身が職員の先頭に立ち、区民の声に真摯に耳を傾け、区役所を区民に近づけるため全力で取り組む。

区民本位で考える職員の姿勢とは

質問 区民の皆さまと区政との間には距離があつてはならず、行政サービス提供の仕組みや職員の姿勢に「区民本位」を徹底する必要があるとの区長の考えについて。

質問 区民の期待に応えられる人材の育成を目指し、区内すべての課の庶務担当係長を人材育成推進員として任命。区民本位の視点から職員の指導・育成にあたらせる。さらに、専門家を含め「区民本位」の視点を重視した研修の充実を図る。

区民の誇りを創造する区政運営を

質問 港区は他区の追従を許さない、豊富な歴史と文化、社会的資源に満ちている。これらと、多様な人的資源そして豊かな財政を活用して、一味も二味も他区とは違う港区を創るとともに、区民が誇りを感じ、創造を掻き立てる区政運営を期待する。そこで(1)計画が遅れている「郷土資料館」の早期実現を。(2)豊かな発想、創造力が醸し出される環境の整備を。

質問 港区は他区の追従を許さない、豊富な歴史と文化、社会的資源に満ちている。これらと、多様な人的資源そして豊かな財政を活用して、一味も二味も他区とは違う港区を創るとともに、区民が誇りを感じ、創造を掻き立てる区政運営を期待する。そこで(1)計画が遅れている「郷土資料館」の早期実現を。(2)豊かな発想、創造力が醸し出される環境の整備を。

質問 (1)現在、教育委員会では、文化財の保存と継承の観点から、新郷土資料館の整備を具体的に検討中。区長としてこの取組みを支援していく。(2)区民が様々な文化・芸術資源を活用し、日常的に享受出来る文化環境の整備を推進する。

質問 当面する諸課題の中で、特に急がれるのが高齢者対策。住み慣れた地域で、安心して心豊かに暮らすことが出来るよう港区独自に、きめの細かい在宅介護サービスやグループホームの提供が必要。高齢者対策を一番に取組むべきと考えるが。

高齢者施設の整備について

質問 介護を必要とする高齢者本人やその家族の多くが、特別養護老人ホームやグループホーム等への入所を希望している。基本計画上、平成20年度までに300床分の特別養護老人ホームと3館のグループホームの整備を予定。可能な限り計画の前倒しをして、整備を進める。

子育て支援策の取組みについて

質問 (1)子供と家庭への支援策を総合的に展開し、併せて児童虐待防止のネットワークの核となる「子ども家庭支援センター」の本格設置が必要。区長の考えを。(2)すべての親が心身共にゆとりを持って子育てが出来よう、様々なサービスを受ける機会や環境の整備が必要。誰もが気軽に、子育てに関する相談が出来る子育て広場を地域ごとに設置する必要がある。区長の考えを。

まちづくりについて

質問 区民発意の街づくりとは、どのようなものか。

質問 地域住民が主体となって、自らの街の将来像を描き、実現

質問 (1)現在の子ども家庭支援センターは、地域の身近な施設として子育て相談と、乳幼児の一時預かり事業を実施している。今後、児童虐待未然防止の支援策を実施し、虐待防止ネットワークの拠点となるよう一層の機能拡充に努める。(2)児童館の中に乳幼児のプレイルームを整備し、乳幼児や保護者の集える場として子育て広場事業を実施中。また、子育て相談や子育てサークルの育成なども赤坂地域は「赤坂子ども中高生プラザ」で、青山地域は「あい・ぽーと」で実施している。今後は、利用者の



▲子育て広場あい・ぽーと

利便性に配慮し、身近な地域の中で、よりきめ細かな子育て支援策を提供できるよう検討する。

より自立した生活が送れるよう、軽度の要介護者にも対象を拡大した介護予防事業に取り組んでいく。

子育て支援策について

質問 地域全体で子どもの成長を見守り・育てる観点と、児童の多様な拠点としての、「放課後・土日等の居場所づくり」を今後どのように考えていくのか。

質問 今年度策定予定の、次世代育成支援対策行動計画の中で、方向性を明らかにする。

文化芸術振興条例について

質問 (1)芸術家への練習、発表の場の提供と、経済的支援体制など、どのような取組みをしようのか。(2)文化施策の総合的な新たな所管の窓口が必要ではないか。(3)条例の制定時期は。

質問 (1)区内には、民間を含め、様々な文化・芸術関連施設が多

港区コミュニティバスは、 シルバーパス利用者などへ無料パス交付!

公明党議員団

質問 (1)財政の健全化が図られた今、基本計画・実施計画の中で区民生活に直接関わる生活基盤の充実など、区民要望に積極的に対応すべき。(2)三位一体改革にあたり、財源の確保を国に積極的に要望を。(3)平成18年度の都区財政調整制度の見直しに向け、どのような姿勢で望むのか。

介護予防対策について

質問 軽度の要介護者及び要介護状態になる恐れのある方を対象とした、新たな介護サービスの創設、地域における介護サービス拠点の整備を。

質問 高齢者が住み慣れた地域で

質問 (1)特別養護老人ホーム待機約300名をゼロに」と公約した。港区として、介護保険の契約違反を一日も早く解消するため、どう実現するのか、明らかにすべき。

質問 (1)特別養護老人ホーム整備

質問 (1)特別養護老人ホーム整備については、基本計画の前倒しを含め速やかに実現する。(2)保育園待機児の状況は区内各地域に分散しているため、新設ではなく、既存園の改築、改修による定員拡大及び認証保育所

区の責任で公約実現への プロセスを明らかにすべき

共産党議員団

の設置が効果的と考える。



▲特養ホーム建設の促進を

低廉な区民向け住宅建設について

質問 旧神明小学校跡地の住宅建設について、子育て世代が住めるような低廉な家賃住宅とする



▲昨年実施された筋力トレーニング

(2ページ下段より続く)

ため、港区が主体となった方式で建設すべき。また、学校跡地などを活用し、低廉な家賃住宅の建設を行うべき。

答弁 旧神明小跡地は、敷地を分割し、基本計画に基づく区民向け住宅や新エコプラザを建設する。併せて、定期借地権を設定して、民間事業者による賃貸住宅等を計画。学校跡地などを活用した区民向け住宅の建設は旧神明小跡地の計画を最後とする。

家賃助成制度の充実について

質問 高齢者、ファミリー世帯、新婚世帯など区民が住み続けられるよう、民間家賃への助成制度の継続と充実をすべき。

答弁 人口の都心回帰が顕著なこと、効果が限定的なこと、公平性の問題、最近の民間住宅家賃の下落などから廃止を決定した。よって、復活は考えていない。

介護保険制度の充実について

質問 ホームヘルプサービスの利用者負担の6%、低所得者3%の軽減措置の継続と軽減対象者の拡大を図れ。

答弁 国が実施すべきと考えている。仮に国の制度が廃止された場合は、全国共通のシステムがなくなるため、区で同様の仕組みを継続することは困難。

乳がん検診について

質問 今年度から40才以上を対象に実施される乳がん検診のマンモグラフィについては他の健診同様無料とすべき。また、利用しやすい区内の医療機関で実施できるようにすべき。

答弁 一定程度の自己負担は、健康の自己管理の重要性を認識するため重要だ。区内複数の医療機関で検査を受けられるように検討していく。

図書館運営の民間委託に反対する

質問 教育委員会は、区政モニターのアンケート結果を根拠にした民間委託を白紙に戻し、広く区民の意見を聞くべき。そして利用者本位、区民がもっと図書館を利用しようと思うような、図書館をめざすべき。

答弁 昨年度のアンケートの結果、民間委託を視野に入れた新しい運営方法・開館日の拡大等についての検討を行っている。

施政方針に対する区長の考え方は基本構想に対する区長の考え方は

民主クラブ

質問 港区基本構想に対しては、議決のときも区議会の中で多くの問題点が提起された。新区長として基本構想をどう受け止めているか。

答弁 基本構想については尊重する。一方で、施政方針で示した方向性に沿い、可能な限り基本計画計上事業の前倒し等により課題解決の着実な実現に努める。



▲基本構想並びに基本計画

支所改革はどのように行うのか

質問 サービス業としての区は、住民に最も身近な所で区政運営をすべき。この観点から支所をどのように改革するのか。

計画の提案や支援方法の制度化を目指す。ワンルームマンション規制強化の条例を制定する。

公共施設の整備・運営について

質問 公共施設の整備・運営に当たって、PFIや指定管理者制度の採用は慎重にすべき。

区政に係る区長の包括的な考え方は小学生の校外活動について

質問 区長選挙は、現時点においてなるべき候補が勝つと理解している。オンブズマンなどと野党でもなく、是非々々で主張し、行動していく。われわれの掲げる環境、教育、福祉、街づくり、役所・議会改革の各分野における諸政策について、区長自身の考え、意見、類似点や違和感も含め包括的な答弁を。

答弁 みなとたばこルールに対する罰則の提言など、一部相違点もあるが、情報を公開し、説明責任を果たすなど、区民の視点を大切にする考え方や、自然エネルギー活用、幼保一元化等の政策面等共通点は多いと考える。

質問 (1)小学生の校外活動で、教師の適切な引率が欠けた事例があったが、(2)校外活動での危機管理は。

答弁 (1)子供の安全を守る観点からの検討が不十分な事例だった。(2)校外学習実施前には、教師による実地踏査を行い、危険箇所を点検するよう各学校を指導している。今後、万全な対策を取るよう更に学校を指導する。

共施設の目的や特性を踏まえた検証及び効果の見極めが不可欠。区政運営の進め方は

区政運営の進め方は

質問 区長として、どのように区政運営を進めていくのか。

オンブズマンなど二票の会

質問 区長選挙は、現時点においてなるべき候補が勝つと理解している。オンブズマンなどと野党でもなく、是非々々で主張し、行動していく。われわれの掲げる環境、教育、福祉、街づくり、役所・議会改革の各分野における諸政策について、区長自身の考え、意見、類似点や違和感も含め包括的な答弁を。

答弁 (1)港南地域の環境指標は改善の兆し。今後も環境改善施策を推進する。(2)既存の学校施設で対応可能。港南小学校は平成10年に耐震補強工事実施済み。

質問 特別区税条例の老年者控除廃止に対応する高齢者支援策を。答弁 低所得の高齢者に対する様々な施策は、今後も配慮する。

積極的な

区政運営の取り組みを

港区民クラブ

質問 (1)人口の増加、高齢化社会。将来への備えなど、区政は今、大きな転換点を迎えている。区長は、区民が暮らしやすい街の実現に向け、今後、どのように区政を舵取りしていくのか。(2)支所改革をはじめとする大胆な区役所改革の基本的な考えを。(3)職員が積極的に街に出て、区民ニーズを肌で感じさせるといふ事も重要と考えるが。

答弁 (1)全ての区民が安全・安心に、都心生活を享受できるように、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していく。(2)ITを活用した各種行政サービスや、区民も自ら区政に参画できる仕組みを構築し、改革を早急に実現させる。(3)職員の意識改革を行う上で有効。区民の立場に立つて行動する職員を育成する。

戦略事業推進室は、各事業を所管課へ移行し、即時廃止せよ!

質問 戦略事業推進室の役割は終わった。3年をメドの組織である。即時廃止せよ。

みなとかがやき

質問 組織検討の中で見直す。NPOハウスを耐震診断が悪かったからと言って、2年で退去させる区の責任は大きい。今後の対応は。

答弁 利用者団体と十分な協議をしていく。

質問 施政方針の施策の優先順位をどう考えているか。

答弁 どの施策も重要だが、乳幼児から高齢者にいたる区民が健康で、安全で安心して暮らせる地域社会をつくるのが最重要。電線類の100%地中化の実現に向けた具体的計画は。

数の人々」を含むもっと広い範囲でのニーズの把握が必要。答弁 そのため情報提供を充実させ、職員が積極的に街に向き、大勢の区民と交流を図る。

区民が親しみを帯びる「区政にするには」

質問 今年度、モデル事業の実施と併せ、地中化の推進に向けた基本的な考えをまとめる。

子育て世代に住宅確保を。子ども部の設置と次世代育成計画に区民参加を。

質問 (1)子育て世代に家賃助成や優先的に公的住宅などの提供を。(2)子どもに関する総合的な施策を進める部として「子ども部」の設置を。(3)子育てに関する専門的サービスや相談機能を持つ、夜間や土日でも対応可能な、子ども家庭支援センターを。(4)子どもの遊び場に管理人などの配置を。(5)自主性や創造性を伸ばすために冒險広場(プレイパーク)の設置を。(6)育児休業の代替職員は原則として区民の雇用を。

質問 (1)子育て世代に家賃助成や優先的に公的住宅などの提供を。(2)子どもに関する総合的な施策を進める部として「子ども部」の設置を。(3)子育てに関する専門的サービスや相談機能を持つ、夜間や土日でも対応可能な、子ども家庭支援センターを。(4)子どもの遊び場に管理人などの配置を。(5)自主性や創造性を伸ばすために冒險広場(プレイパーク)の設置を。(6)育児休業の代替職員は原則として区民の雇用を。

質問 (1)子育て世代に家賃助成や優先的に公的住宅などの提供を。(2)子どもに関する総合的な施策を進める部として「子ども部」の設置を。(3)子育てに関する専門的サービスや相談機能を持つ、夜間や土日でも対応可能な、子ども家庭支援センターを。(4)子どもの遊び場に管理人などの配置を。(5)自主性や創造性を伸ばすために冒險広場(プレイパーク)の設置を。(6)育児休業の代替職員は原則として区民の雇用を。

質問 「政治的発言をしない大多数の人々」を含むもっと広い範囲でのニーズの把握が必要。答弁 そのため情報提供を充実させ、職員が積極的に街に向き、大勢の区民と交流を図る。

「区民が親しみを帯びる「区政にするには」」サイレントマジョリティの声を反映、魅力ある支所づくり

区民のみなと区議会の提出を請願だより

採択した請願

白金台五丁目公務員住宅跡地に
関する請願

(要旨) 白金台五丁目公務員住宅
跡地を、貴重な自然環境の保護
と地域住民の生活環境の保全の
ために、港区で購入されたい。

請願書の要件から印鑑を原則撤
廃することに関する請願

(要旨) 請願代表者の氏名が肉筆
の場合は、押印しなくてもよい
よう関係規則を改正されたい。

白金台五丁目公務員住宅跡地と
その周辺環境保全に関する請願

(要旨) 白金台五丁目公務員住宅
跡地の利用については、国立科
学博物館附属自然教育園と周辺
の自然環境に充分配慮した活用
がなされるよう関係機関に働き
かけられたい。

(仮称) 赤坂七丁目計画分譲マ
ンション新築工事に関する請願

(要旨) (仮称) 赤坂七丁目計画マ
ンション新築工事の事業主に対
して、基本設計の見直し及び管
理人の常駐等について、近隣住
民との合意形成が整うよう指導
されたい。

耐震診断助成制度の一部見直し
に関する請願

(要旨) 建築物の規模に関わらず最
高150万円までとしている現在の
耐震診断助成制度について、マ
ンションの場合でも、木造戸建
と同額の一世帯当たり10万円まで
とされたい。

南青山四丁目住宅地でのマンシ
ョン建設計画にあたって事業主
・施工業者に住民と話し合いを
持つよう求める請願

(要旨) 南青山四丁目のマンシ
ョン建設計画にあたって、事業主・
施工業者に対し、住民と話し合
いを持ち、工事協定書及び建物
完成後の運営に関する覚書を取
り交わすよう指導されたい。

「シェーネ白金」の違法建築の
撤去を求める請願

(要旨) 違法建築として工事停止
命令を受けている「シェーネ白
金」は、現在もなお鉄骨や足場
が放置されているため、近隣住
民の不安・心配を速やかに解消
されるべく、増築部分の撤去な
ど厳正な措置をとるよう働きか
けられたい。

地元中小建設産業従事者の経営
と生活危機打開のための緊急対
策を求める請願

(要旨) 地元中小建設産業従事者
の経営と生活危機打開のため、
介護保険住宅改修事業者の受領
委任払い制度を実施されたい。

右の請願は、願意にそいがた
いとの理由で不採択となりました。

港区白金1丁目25番高層マンシ
ョン建設計画に関する請願

民間人保護の国際人道法である
ジュネーブ条約追加議定書なら
びに、国際刑事裁判所(ICC)
の速やかなる批准を日米両政府
に求める意見書採択に関する請願

無差別殺戮兵器クラスター爆弾
の使用禁止を求める意見書採択
に関する請願

地元中小建設産業従事者の経営
と生活危機打開のための緊急対
策を求める請願

(要旨) 地元中小建設産業従事者
の経営と生活危機打開のため、
介護保険住宅改修事業者の受領
委任払い制度を実施されたい。

継続審査とした請願

港区白金1丁目25番高層マンシ
ョン建設計画に関する請願

民間人保護の国際人道法である
ジュネーブ条約追加議定書なら
びに、国際刑事裁判所(ICC)
の速やかなる批准を日米両政府
に求める意見書採択に関する請願

無差別殺戮兵器クラスター爆弾
の使用禁止を求める意見書採択
に関する請願

地元中小建設産業従事者の経営
と生活危機打開のための緊急対
策を求める請願

地元中小建設産業従事者の経営
と生活危機打開のための緊急対
策を求める請願

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願

赤坂五丁目TBS再開発にあた
り北側住居環境維持に関する請願

赤坂四丁目葉研坂北地区再開発
計画に関する港区環境影響調査
実施についての請願

政党助成金制度の廃止の意見書
提出に関する請願

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願

赤坂五丁目TBS再開発にあた
り北側住居環境維持に関する請願

赤坂四丁目葉研坂北地区再開発
計画に関する港区環境影響調査
実施についての請願

政党助成金制度の廃止の意見書
提出に関する請願

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願

赤坂五丁目TBS再開発にあた
り北側住居環境維持に関する請願

赤坂四丁目葉研坂北地区再開発
計画に関する港区環境影響調査
実施についての請願

政党助成金制度の廃止の意見書
提出に関する請願

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願

赤坂五丁目TBS再開発にあた
り北側住居環境維持に関する請願

赤坂四丁目葉研坂北地区再開発
計画に関する港区環境影響調査
実施についての請願

政党助成金制度の廃止の意見書
提出に関する請願

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 X…反対

※略称 オンブズ一票の会…オンブズマンみなと一票の会
ネットみなと社民…ネットワークみなと社民

Table with columns: 案件名, 自民党議員団, 公明党議員団, 共産党議員団, 民主クラブ, オンブズ一票の会, 港区民クラブ, みなとかがやき, 仲間へ勇気の会, ネットみなと社民, 議決結果

Table with columns: 日付, 委員会/会議名, 内容

第2回定例会 会議日程
7月14日 運営委員会 本会議
16日 本会議
20日 運営委員会 本会議
21日 常任委員会
22日 常任委員会
23日 常任特別委員会

「虎ノ門・六本木地区市街地再
開発準備組合及び虎ノ門・麻布
台地区市街地再開発準備組合」
の長年にわたる街づくりへの取
り組みに理解をいただき、当地
区の街づくりの早期実現に向け
て協力を求める請願